

# 令和7年度 公益活動げんき応援事業助成団体一覧

<げんき応援コース> 助成件数：26件

交付実績合計額：2,196千円

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額	助成金 交付額
1	NPOナナツ ホシ	鉄道ミュージアム・牛乳パックで電車を作ろう	子どもの笑顔や夢を第一に考え、鉄道を通じて子どもの居場所づくりのお手伝いを担う。小学生以上にはNゲージやH0ゲージの運転体験、幼児はプラレールの無線コントローラーによる運転体験にて、感動や働くことの大切さを知ってもらう。また、牛乳パックで電車を作る工作も通じて、ものづくりの大切さ、楽しさも体験してもらう。	106千円	89千円
2	ハレノヒおとなこども食堂	ハレノヒおとなこども食堂	地域にあるこども食堂を使うことはハードルが高いと感じている音、匂い、人が多いところが苦手な特性をもつ子どもや、その保護者を対象に、食事とレクリエーションの提供を通して安心して過ごせる居場所の提供、小集団で楽しく過ごすことが叶う経験を積ませることを目的とする。事前面談のもと、医療者が子どものコミュニケーションの課題や緊張、不安のかかり方を聴取し、こども食堂の参加を通じて、子どもたちの協働の気持ちを養い、コミュニケーションが上手くいく経験を積むことで、居心地のいい場所、同じ悩みをもつ保護者同士が共感できる場を作る。	136千円	100千円
3	ハレノヒおとなこども食堂	ハレノヒのお部屋	小学1年生～中学3年生の不登校にある子どもをできる限り早期に復学すること、長期不登校に陥る子どもの数を減らすことを目的とする。保護者から事前に不登校に陥った理由、子どもの心の状況、発達検査結果を聴取し、子どもが小集団で苦手さを改善していくための療育プログラムを遊び、指示に従う練習を医療者が提供する。子どもの様子を保護者の許可のもと毎月担当のソーシャルワーカーや学校へ共有・連携することで、復学への道筋を作る。また、保護者が孤独に陥ることなく広汎性発達障がいの子どもの理解を深めることができる。	176千円	100千円

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額	助成金 交付額
4	足立子ども組織を育てる会	第53回足立青空学校サマーカーンプ	子どもたちが都会ではできない自然の中でのバーチャルではない実体験をすることで、探求心、冒険心を引き出す。また、異年齢の集団での自主的な生活体験を通して、コミュニケーション力を高め、早寝早起きなどのコロナ禍で影響を受けた生活習慣を取り戻すこと、異年齢交流による居場所づくりを目的とする。今年の活動テーマは「炎を作り、利用しよう」。様々な火おこしの挑戦や薪窯でのピザづくり、飯盒炊爨などを班で協力し、自主的に活動できるよう指導する。	636 千円	100 千円
5	足立子ども組織を育てる会	食育につながる「仲間と一緒に作って食べる活動」とんがり会	共働きやシングル家庭が多くなり、子どもたちが給食のないときにジャンクフードやお菓子上で済ませるのではなく、食事の栄養に配慮できるように昼食を自分たちで用意出来る調理の経験と、親子で男女関係なく食事作りを楽しむことを目的とする。昨年度、親子での参加者が目立っていたことより、本年度は家庭で作れるメニュー等、親子で楽しめる内容としている。みんなで作り、食べる楽しさを経験し、子、親にとっての居場所となる事業を目指す。	136 千円	100 千円
6	ハグハグ	不登校児童によるお店屋さんごっこ	足立区に「小さなキッズニア」を作り、お店屋さんの職業体験をしてもらうことにより、自分で作ったものを売る喜びや、買ってもらえる成功体験を積み、自分自身に自信が持てるようにする。自分の得意に気づき、今やるべき事や学ぶ事を振り返ることで、復学に繋げていく。区内の不登校児を減少させ、孤立させない場所づくり、保護者同士のコミュニケーションの場としても機能することを目的とする。アクセサリや小物入れの作成から、ラッピング、画用紙のお金の作成、販売等の一連の流れを3段階に分けて実施する。	91 千円	91 千円

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額	助成金 交付額
7	特定非営利活動法人 日本ライフナビゲーター協会	子どもの健全育成支援事業	コロナ禍以降、リアルな対人コミュニケーションが苦手と感じている小中学生が増えている背景より、学校教育や家庭環境だけではサポートしきれない子どもの心の居場所として、演劇心理学を取り入れた「子どもおとなドラマセラピー」を区内の住区センターで定期開催する。感情を解放し、表現力を伸ばすことで、子どもがリアルな対人コミュニケーションに自信をもち、創造性や社会性を自然と高めることで区全体の「子どもの健全育成事業」に役立てることを目的とする。	285 千円	100 千円
8	特定非営利活動法人 たんぼぼ会	高齢者サロンたんぼぼ	高齢者の社会的孤立を防ぎ、フレイル(加齢によって心身が衰えた状態)予防と認知症予防をすすめ、いつでも住み慣れた地域で暮らせる地域づくりを目的とする。65 歳以上の歩いて通える方を対象に、元看護師や介護士などの専門職に協力のもと足立区柳原の高齢サロンにて、口腔ケア、健康体操、脳トレーニングなどを行う。毎回参加者のバイタルチェック測定を行うことで、健康状態を把握・管理や、スタッフ以外の管理栄養士や歯科衛生士等の協力によって、ミニ学習会を実施する。	420 千円	100 千円
9	かけはしエリアマネジメントプロジェクト	高齢者「通いの場指導員」を育てよう事業～介護予防×つながりづくりセミナー～	昨年度は、足立区のふれあいサロン等「通いの場」に所属する高齢者自身が、活動を先導できる指導員となって主体的に動けるような支援者育成を目的に「通いの場指導員講習会」を開催した。本年度は講習会に加え、ミドル世代が通いの場に触れる機会を作り、その重要性を学ぶことができる通いの場普及セミナーを開催することで、通いの場支援活動を積極的に実施できる人材を育成し、支援の推進力を大きくすることで、区内における高齢者の介護予防と社会的孤立の解消を目的として推進される「通いの場」の普及・啓発を図る。	63 千円	63 千円

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額	助成金 交付額
10	N P O 法人 スマイル・エイ ジングパート ナー	地域サロ ン「かど っこカフ ェ」	地域の「顔の見える関係」作り、高齢者の介護予防として、自由に参加できる場所を提供。地域サロンを第2・第4火曜日に運営し、ストレッチ体操・リズムダンス・歌会を行う。また、月1回講師を招き、昨年度好評だった「けんこう体操」を実施する。プログラム終了後は飲み物とお菓子を用意してお茶会で交流を図る。社会参加意欲の向上、参加者から「困りごと」を受けた時には、地域で連携している民生委員や地域包括支援センターに繋げることを目的とする。	155 千円	84 千円
11	コミュニケー ション・カフェ	「幸せと は？」に ついて 知り・学 び・対話 を通して 考える	「ウェルビーイング向上と SDGs の推進」が足立区の新たな基本計画の大きな柱となっている。「幸せ」について知り・考えるためにワークショップを開催し、区民に「幸せ(心の状態)とは何か」について、知り、学び、自分事として考えてもらうことを目的とする。	32 千円	28 千円
12	ショッコラン	グランド ジェネレ ーション が 主 役 「陽だま りコンサ ート」	高齢者の孤立が課題のなか、過去に参加した地域イベントの経験から、懐かしい曲での体操、遊び歌、着ぐるみキャラクターを起用し、高齢者に笑顔とゆとりを届け、参加者同士の交流、「昔の思い出」「楽しかった記憶に触れる」といった情緒的な体験を通じて、心の活性化を図ることを目的とする。	185 千円	100 千円
13	ショッコラン	おやこの 時間応援 プロジェ クト「シ ョッコラ ンといっ しょ」	近年、子育て世代の保護者から「子ども向けイベントがあっても頻繁には行けない。」等の声があり、過去の公演で行ったアンケートでも「何度も見れる動画があればありがたい。」といった声が多くあった。このことから、キャラクターが登場する歌・ダンス・リズムあそび・体操・まねっこ劇あそび等を収録した動画を作成・配信する。親子のふれあいの時間を増やし、家庭内コミュニケーションを深め、区内の公園や施設を舞台とすることで、親子が地域に関心を持ち、実際に出かけるきっかけづくりも目指していく。	139 千円	100 千円

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額	助成金 交付額
14	育てよう！いのちの根っこ	夏休み 体験活動 「いのち ってすごい！」	近年、文科省の「生命の安全教室」が始まるなど性教育の分野について認知は広まっており、保護者にも性教育の必要性を感じる認識は高まっている。しかし性的話を保護者自身から伝えることに抵抗感を感じている方も多い。本事業では、いのちの話を聞いたり、いのちに関する体験活動を通して、子ども達に向けて自分が胎児の時におなかの中で自分自身が生きるための工夫をしてきたことやプライベートゾーンを守ることを伝え、自分自身の体を大切にすることを養うことを目的とする。また、体験活動を通して、自由研究の題材として親子で活用してもらうことで、親子のコミュニケーションを深める。	98 千円	76 千円
15	キッズサポート	地域をつなげる青井フードパントリーの開催	毎月1～2回、企業等より食品の提供を受け、運搬し、パントリーを開催。福祉職員との協働で地域の潜在的な貧困の方々とのつながりの場を提供、食の提供を通し困難を抱える方々と地域がつながる架け橋となり、地域資源と困難者をつなぐことを目的とする。	161 千円	100 千円
16	Adachi Helper	足立区民に向けた介護・福祉啓発フリーペーパー制作事業	区内の障がい者手帳所持者が3万人、高齢化率は23区内で上位である一方で、訪問介護サービスの担い手が不足している現状がある。 区内で働く訪問介護ヘルパーを取材し、その“声”や“取り組み”、ヘルパーになるまでの研修から就労までの流れ等を、『HELPER!』（フリーペーパー）の発行を通して地域住民に伝える。区民の「訪問介護への興味」「介護・福祉への関心」を喚起し、将来的な人材確保と地域理解の醸成を目指す。	126 千円	100 千円
17	とうきょう千住・キエ	こどもと地域を繋ぐあだちのおとな見学事業	職場体験を実施し、子ども達に広く「地域のおとなの社会」を体験してもらうことで地域参加を促し、生まれ育った環境や価値観等だけに起因せず、子ども達の選択肢と可能性を伸ばし、「社会を生き抜く力」を身に付けることを目指す。体験先へはトックトック(申請者所有)を使用して移動し、デザイン会社や玄米おにぎり専門店、税理士事務所等の職業体験を予定している。	68 千円	68 千円

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額	助成金 交付額
18	一般社団法人 キャリカ	あだち コミュニ ティカレ ッジ	<p>世代や立場を越えて誰もがともに学び合い、一人ひとりが自分らしくより良い距離感で関われる「令和のつながり」を育む場の必要性から、「あだちコミュニティカレッジ」を設立する。</p> <p>あだちコミュニティカレッジでは「みんなが思う地域コミュニティってなんだ？」を年間テーマに掲げ、講座やワークショップ、地域イベントを実施し、最終的に活動をまとめ、未来へつなぐ「ZINE」制作を行う。</p>	155 千円	100 千円
19	花畑地区交通 協議会	高齢者の スマート フォン活 用推進及 び地域活 性化事業	<p>独自のアンケート結果から、区内の高齢者がスマートフォンを使いこなせていない現状が判明。区内高齢者にスマートフォンを活用してもらい、情報収集や非対面でのコミュニケーションの円滑化を促進し、『活力あるあだち』を目指す。</p> <p>継続的に開催する区民対象の意見交流会に講師を招き、スマートフォン講座・相談会を開催していく。</p>	97 千円	97 千円
20	あだち サーク ル・響き	おしゃべ りサロン 事業	<p>視覚障がい者、サポーター、その他の分野の方々と交流し、何気ないおしゃべりを楽しむことで、生きる楽しみ・生活の気づきを見出し、孤立を防ぐ。</p> <p>昨年度から引き続き、おしゃべりサロン、ミニ音楽会、全盲ヴァイオリニストの演奏会、ダンデム自転車体験会を実施していく。特にダンデム自転車体験会は昨年度、参加者から好評だったため、今年度も開催に至った。</p>	153 千円	60 千円
21	特定非営利活 動法人 Chance For All	こどもた ちの感情 に寄り添 う 感情図書 館 hidamari 事業	<p>居場所やあそび場といった、限られた時間だけでなく、いつでもどこでも子ども達の心の拠り所となるよう、アクセスが容易な「本」を居場所として提供していく。</p> <p>当団体で考案した世界初の「感情分類」を使用して分類した本を、子ども達が手に取れるよう、図書館と連携して感情分類に関する特集を実施していく。</p>	399 千円	99 千円

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額	助成金 交付額
22	特定非営利活動法人 Chance For All	地域のつながりフリーマーケット事業	既存のパークリーダー活動(ステップアップコース「こどもたちのあそびを見守るパークリーダー事業」と連動し、公園内に「フリーお茶・紅茶スタンド」を定期的に設置・運営する。これにより、誰もが「ふらっと立ち寄れるきっかけ」をつくり、公園を利用する保護者や高齢者の関係性が生まれることで、子どもたちが安心して公園を利用できるような環境を作っていく。	309 千円	9 千円
23	コミュビズあだち	地域団体の情報発信力を底上げする Web メディア推進事業	区内には、地域の課題解決や居場所づくり等多様な活動を行う団体が存在するが、情報発信の手段が限られている団体が多く、活動の周知や支援の獲得に課題がある。その状況を打破するために、当団体では地域団体の情報を集約・掲載する Web メディア「コミュビズあだち」を設立した。 本事業では、Web メディアのさらなる利用促進・認知向上を図り、団体と地域住民の接点を増やすことを目的に、広報活動や団体支援を行っていく。	63 千円	63 千円
24	NPO 団体 DECO(デコ)	発達に特性のある子どもたちと海外の子どもたちとのやさしい英語交流会	足立区では、外国にルーツを持つ子どもの数が年々増加しており、学校や生活の場で、異なる文化や言語を持つ子どもたちがともに過ごす機会が増えている。発達特性のある子ども達は交流のハードルが高くなりがちであるため、そうした子ども達と海外(主にアメリカ、オーストラリア)に住む子ども達が交流し、異文化理解や英語学習への関心、自己肯定感の向上が目指せるオンライン交流プログラムを実施していく。	157 千円	100 千円
25	NPO 法人青少年自立援助センター	足立区民のためのスポーツ交流会、季節のイベント	困難な環境にある区内の若者に向けて「フリースペースわかば」を設営している中で、スポーツによって成功体験、仲間との協力を実感できる機会が増え、若者の成長に繋がっていると実感。 年に3回荒川土手でモルック大会や、体育館でのスポーツイベント、季節ごとのイベントを提供し、若者の心の安全基地、文化資本、社会関係資本を育んでいく。	167 千円	95 千円

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額	助成金 交付額
26	一般社団法人 福祉のみらい	足立区み らいカフ ェ みらい縁 日	区民の地域交流を活性化させるとともに、家族や 親戚以外にも頼れる・相談できる相手がいるコミュ ニティーの設立を目的に、毎月実施している「みら いカフェ」の特別事業として、高齢者の参加者に運 営を手伝ってもらい縁日を開催する。	74 千円	74 千円

<課題チャレンジコース> 助成件数：9件

交付実績合計額：1,881千円

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額	助成金 交付額
1	ひだまり しゅしゅ花畑	可愛い仮装をした子供たちのクリーンパレード	廃材を利用したワークショップの開催でリサイクルについて学ぶきっかけづくりをする。なぜゴミを外に捨ててはいけないのか紙芝居の実演とゴミ拾いの経験をもとに学んでもらう。子どもだけでなく大人も再認識することでポイ捨てを減らし、地域のゴミに対する意識を高め、落ちているゴミの放置で地球がどうなるのか、先のことを考えられる人を増やす。また、イベントを通して多世代にわたり地域が声を掛け合い、顔見知りが増えることを目的とする。	163千円	154千円
2	一般社団法人 コーチングバ リュウ協会	足立グロ ーバルブ リッジ事 業	足立区在住の外国人が増加傾向にあり、日本語能力向上への様々な取り組みがなされる一方、身につけている言語力を生かす機会は充実しているとは言い難い。本事業を通して、①外国にルーツを持つ子どもが活躍できる多文化共生社会づくり推進。②外国にルーツを持つ子ども、その親族への日本語学習機会の拡充。③地域住民を主体とした、言語運用能力向上やグローバルマインド養成。④様々なルーツ・言語を活かした、区民の心身・脳の健康増進を目的とする。区内在住の外国にルーツを持つ子ども、その親族に協力を依頼し、区内の幼児・小学生の親子、シニアを対象に運動しながら多言語に自然に触れて楽しむイベントを実施する。	163千円	163千円
3	一般社団法人 コーチングバ リュウ協会	防災キッ ズリーダ ー養成事 業	区内は避難所や経路等が丁寧に整備され、学校教育でも防災知識の学習や定期的な避難訓練を続けているが、肝心の区民で3種の避難場所の意味を知っている人は少なく、防災知識の不足が課題である。本事業では、いざという時に落ち着いて動ける子どもを育成するために①身近な防災情報を直接調べて共有することで、防災意識を高める。②体験を通じて、子どもたちの防災リーダーの育成につなげる。③防災の専門家に協力してもらい、具体的な知識と方法を知る。④地域への啓発、顔の見える関係構築を目的とし、宿泊型防災イベントを実施する。	262千円	262千円

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額	助成金 交付額
4	足立区女性団体連合会	和文化に親しもう！ Let's enjoy Japanese culture!	外国人住民と交流する機会に乏しい高齢者ほど外国人住民が増えることに不安を感じているという調査結果がある。これを踏まえて、和文化に精通した高齢の講師を招き、浴衣の貸出しと着付けや、盆踊り教室、生け花体験等を日本人親子と外国人住民親子も対象に開催する。子どもが第二の故郷である日本の文化を理解するとともに親子同士の顔の見える関係を築く機会を作り、多文化共生の文化を地域に醸造していく。	241 千円	232 千円
5	ハニホヘトイロ	親子のデジタルコミュニティ事業	デジタル教育の課題を抱える保護者を主対象に、「親子で学び教え合う」コミュニティの形成を行う。体験会後は週に1回、プログラミングの基礎・応用やデジタルツールの活用、情報リテラシーを指南し、家庭におけるデジタル格差の解消と地域全体のデジタルスキル向上に貢献することを目指す。	257 千円	257 千円
6	Open Coral Network	こどもプログラミング教室 『あだちAIキッズラボ』	現在ある民間のパソコン教室は、コンピューターの操作方法は学べるが、「なぜ・誰のために作るのか」といった目的を考える部分や実践的な内容を教えているところは少ないのが現状である。 本事業では、子どもたちが自分で情報を見極め、問題解決できる力を身に着けるために、「何を作りたいか」等を考えるところから、プログラミングを用いて形にするまでの全過程をサポートする場を提供していく。	191 千円	191 千円
7	一般社団法人志伝流	外国ルーツの子どもたちへの文化体験事業	区では外国にルーツを持つ子ども達が年々増加しており、言語や文化の違いから学校や地域に馴染めず、孤立感を抱えるケースが少なくない。 本事業では、外国にルーツを持つ子ども達の「地域での孤立」という課題解決のために、竹光(竹を削って刀に見せかけたもの)体験や手裏剣体験を企画し、区内外国ルーツの子ども達と日本人の子ども達の「交流活動」を実施していく。	193 千円	193 千円

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額	助成金 交付額
8	一般社団法人 福祉のみらい	シニアの スマホで つながる デジタル みらい	<p>足立区では全国平均を上回るペースで高齢化が進んでいる。一方で区は行政サービスのオンライン化を急速に進めている。</p> <p>本事業では、シニア世代がスマートフォンを安心して活用できるよう、専門家の協力のもと「スマホのワクワク練習帖」を活用した学習会の開催や、特殊詐欺対策、防犯アプリの活用方法等の指導を行い、ICT 活用に不安を抱える高齢者が孤立しないよう支援していく。</p>	129 千円	129 千円
9	音楽劇団「ART Lounge」平和& 共生	防災をエ ンタメで ～盆踊り & 映画で 伝える 「てんで んこ」	<p>盆踊りや映画などエンタメの力で「防災」のハードルを下げ、区民に広く興味を持ってもらうことを目的に、当団体代表が世界防災フォーラム@仙台で震災体験者や防災識者から歌詞を公募して制作した「いのちを守ろう音頭～てんでんこ de 防災」を区内で練習し、イベントで披露する。</p> <p>また、東日本大震災のドキュメンタリー映画「生きる～大川小学校 津波裁判を闘った人たち」を上映し、区民に防災を考える機会を提供していく。</p>	401 千円	300 千円

<ステップアップコース> 助成件数：5件

交付実績合計額：2,192千円

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額	助成金 交付額
1	ショッコラン	みんなでつくる「ショッコランタウン」	これまで舞台公演の現場で培った経験を活かし、子どもたちに「見るだけではなく、実際に体験し創造する」機会を提供することを目的とする。舞台作成のプロが手掛ける体験型ワークショップを通じて、自分たちの手で「空想の街＝ショッコラン タウン」を作り上げる体験をし、他者とのコミュニケーションを学ぶ。これにより、思い出深い学びと成長の場を提供していく。	882千円	589千円
2	NPO 法人 LILA 子どもの学びを支援する会	リエゾン・アカデミア (Liaison Academia)	区内の小・中学生を対象に絵画、華道、農業、パラスポーツの学習体験のアカデミアを開講し、①多様性を尊重することの大切さを学び、子どもたちの心身の成長と自己肯定感を育む機会を創造すること。②地域で活動することの楽しさを知り、自ら考える力を養う事で視野を広げ課題解決に向けて行動できる人材を育成する。③地域の自治体や子ども会と連携を図り団体同士のつながりを強化することを目的とする。	143千円	141千円
3	RAISE YOUR VOICE	子ども・若者の区政参画のための未来体験投票	足立区は都内でも投票率が低く若年層の政治的関心の低さが課題となっている。本事業で模擬選挙を通じて、投票という行為の意味や民主的な関わり方を自然に学べるようにし、自分の声が社会に届く感覚を育むこと、投票テーマを自ら考え、他者と共有する機会を設けることで、表現力や当事者意識を高め、将来的な社会参加や地域参画のきっかけを生み出すことを目的とする。模擬選挙では、実際の投票箱を使用し、好きな駄菓子に投票するなど、遊び心のある選挙体験を実施する。	613千円	531千円
4	特定非営利活動法人 Chance For All	こどもたちのあそびを見守るパークリーダー事業	大学生ボランティアを「パークリーダー」として任命し、公園での子どもたちの外遊び支援を行う。研修を受けて活動することで、安全性の確保及び、保護者の安心感を醸成する。	2,895千円	600千円

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額	助成金 交付額
5	特定非営利活動法人 WEL'S	足立区内企業への障害者雇用促進 PR 事業	<p>障がい者雇用について、東京都内企業の実雇用率は全国で最も低く、来年度から法定雇用率が引き上げられることから、より一層の雇用推進が求められる。</p> <p>本事業では、区内企業を対象に障がい者雇用に関する情報をまとめた「障害者雇用促進パンフレット」の作成を行い、企業が障がい者雇用に取り組む際の不安を軽減し、正しい制度理解と実行につながるようサポートしていく。</p>	410 千円	331 千円